



自らまなび 心豊かに  
たくましく生きる  
江北の子を育てます

# 江北小学校だより

～誰もが幸せを感じる学校をめざして～ 校長だより第8号

令和3年11月17日(水) 江北小学校 校長 篠原 一彦

**コロナ禍を乗り越えて学校行事を行うことができます。ご協力に心より感謝申し上げます。**

## 体育大会



10月3日(日)、雲一つない晴天のもと、江北小学校の体育大会を開催しました。「一致団結～全員主役で心は一つ～」の大会スローガンのもと1年生から6年生まで一人一人の子ども達が生き生きとした表情で、一生懸命に競技や演技に取り組みました。

プログラムは今年もコロナ禍のため、身体の接触する競技やリレーを回避し、応援合戦も5・6年生のみが声を出し、3・4年生は動きのみ、1・2年生はテントから応援、というスタイルになりました。そんな中でも子ども達はきびきびと動き、全力で走り、演技をしていました。

総合成績は黄組が見事に2年連続優勝を飾りました。私が嬉しかったのは全校の子ども達が短い練習期間の中でも応援リーダーを中心によくまとまっていたことです。大会後の解団式で、応援リーダーの子ども達が「勝っても負けても最後まであきらめず、みんなで協力して力を合わせて頑張ることができて良かった」と話すと、下級生の子ども達から大きな拍手がおきました。それを聞いて、体育大会を通して子ども達が成長してくれたことが実感でき、とても嬉しかったです。

保護者の皆様には今年もコロナ対策として、観戦者の人数や応援のエリアなど多くの制限・自粛をお願いしましたが、ご理解とご協力をいただきまして本当に有難うございました。また今年はじめて「テントの撤収のお手伝い」を保護者の方にお願しました。すると多くの保護者の方が大会が終わった後も残っていただき、20張りを超える数のテントの片付けだけでなく、倉庫への運搬まで手伝っていただきました。心より感謝申し上げます。

子ども達と保護者の皆様の思いが形となって表れた、よい体育大会ができたと思います。



## 授業参観

10月22日(土)、授業参観を開催しました。教室が密にならないよう、地区を2つに分けての分散開催となりましたが、どの学級でも一生懸命に考え、活動する子ども達と、それを温かくやさしいまなざしで見守る保護者様の姿がありました。ご参観誠に有難うございました。

今回、土曜日に授業参観を設定できたので、平日の授業参観ではお仕事のためになかなか見ることができない保護者様にも見ていただくことができました。また授業者からは「2時間連続の授業参観は、自分たちにとってプレッシャーだが良い経験になります」という声が聞かれました。

授業参観は子ども達の良さや個性を実感していただけるとともに、先生方の授業力アップにもつながります。

次回の授業参観は3学期の予定です。子ども達の成長した姿をぜひご期待ください。



## バス旅行

11月2日(火)、1～4年生のバス旅行(修学旅行)を実施しました。行先は1年生が「どんぐり村」、2年生が「道の駅鹿島と志田焼の里」、3年生が「干潟公園・佐賀県庁」、4年生が「佐賀市エコプラザ・佐賀城本丸歴史館」でした。

バス旅行(修学旅行)の目的は、①学校で学習したことや今の自分たちと関係のあるものを自分の目で見て、学ぶため ②友だちのことを考え、集団で行動し、協力することの大切さを学ぶため ③友だちと旅行したり宿泊したりすることで、楽しい思い出をつくるため などが考えられます。

好天に恵まれたこの日、1～4年生はそれぞれの見学地でしっかりと学び、おいしいお弁当を食べ、友達と遊んでとても満足した「笑顔」で帰ってきていました。この旅をきっかけに、さらに子ども達同士のつながりが深まったと思います。



## 音楽と絵本の読み語り

11月4日（木）、音楽と絵本の読み語りグループ「SORA」（ソラ）さんによる、音楽を盛り込んだ絵本の読み語りライブが開催されました。羽柴よしえさん・岩野聡子さんのお二人に本校の中島進先生もジョイント参加して行われました。絵本の読み語りと電子オルガンによるBGM演奏によって、子ども達は温かい雰囲気の中で絵本の世界に浸っていました。途中には「絵本クイズ」や先生方が飛び入り参加して歌を歌う場面もあり、豊かな時間が流れました。インターネットやスマホが普及した世の中ですが、子ども達のきらきらした瞳を見てみると、絵本や音楽は子ども達の創造力や感受性を伸ばし、豊かな情操が育まれることをあらためて実感したひとときでした。



## サガン鳥栖のマスコット・ウイントスくん来校！

プロサッカー・サガン鳥栖のマスコットキャラクター「ウイントス」が、江北小の朝の挨拶運動に参加してくれました。江北町のキャラクター「チビッキー」と一緒に校門で子ども達を出迎えてくれました。子ども達も笑顔で元気な挨拶ができ、とても微笑ましかったです。「江北小の子はあいさつが上手だウィン！」とほめてもらいました。



## 「献上（けんじょう）米」をいただきました

江北町の武富和也様ご夫妻が栽培され、佐賀県を代表して宮内庁に献納された献上米と新米の「夢しずく」が、先月ご夫妻より町に寄贈されました。

寄贈していただいたお米は、町の給食センターや幼稚園・保育園、老人福祉施設に配付され、給食で提供されます。江北町で収穫された献上米・新米が味わえることを楽しみにしたいと思います。



## P T A ドッチビー大会・バザー・秋のお話会



11月に入り、P T A行事もコロナ禍対策を取り安全に配慮して催されるようになりました。

7日（日）はドッチビー大会とバザーが開催されました。ドッチビー大会は従来「地区別対抗」でしたが、今回は事前に子ども達に実施されたアンケートの結果をもとに「クラス対抗」の形となりました。そのため全ての子ども達が参加できるようになるとともに、練習や応援を通して「クラスのために頑張ろう！」という意識が高まり、クラスのまとまりにつながっていたようです。1、2年生の子ども達の中には初めてディスク（やわらかい円盤）を投げることを経験した子もいましたが、投げたりよけたり、元気いっぱい活動する姿がみられました。

この日、体育館ではバザーも開催されました。保護者の皆様には子ども達の応援の合間にたくさんの商品を買っていただきこちらも盛況でした。

大会に向けてP T A保体部の保護者様、福祉環境部の保護者様には各部長様を中心に事前の話し合い、前日の会場準備、そして当日の運営と片付けまで、本当にお世話になりました。合わせてお休みの日にも関わらず応援いただいた保護者様、品物のご提供とご購入をいただいた保護者様、ほか全ての保護者様に心より感謝申し上げます。

15日（月）には親子読書会の皆様による「秋のお話会」が1～3年生の子ども達を対象に体育館で実施されました。人形劇とペープサートを組み合わせた形で「へんしんトンネル」「しょうじょうじのたぬき合戦」のお話を見せていただきました。ピアノによる伴奏もあり、とても楽しいひとときを過ごすことができました。今回のイベントを通してまた一つ、子ども達に素敵な思い出が加わりました。お世話本当に有難うございました。

## 11月（後半）の予定

17（水）～18（木）6年生修学旅行（長崎市）

17（水）弁当の日（1～5年生）

22（月）薬物乱用防止教室（6年生）

25（木）～26（金）5年生宿泊学習

（玄海エネルギーパーク、黒髪少年自然の家）

25（木）P T A給食試食会

